12/1 №945
平成2年(1990年)
広報 まえばし

市民の願い

市民憲章
わたくしたちは
水と緑と詩のまち 前橋の市民です
日々のしあわせと伸びゆくこのふるさとの
明日をめざして
1 やさしい心をもとう
1 強いからだをつくろう
1 たのしく働こう
1 自然をまもろう
1 文化を大事にしよう

発行・前橋市役所 〒371 前橋市大手町二丁目12―1・電話24―1111(大代表)／編集・企画部広報課／毎月1日・15日

郷土作家シリーズ⑧ まえばし美術館

枯(かれ)

花(はな)

塩原 友子（1921～）

1989年 日本画 91×72.7㌢

しおばら・ともこ 日本画院同人、県美術会副会長／この絵は枯れた花や貝殻などを題材にして、白や淡い色調でまとめた独特の表現。静物、心象風景を扱った作品が多い／田口町に在住。

○とじて保存してください。いつかまた お役にたちます○

ピックアップ

盛んです「町の広報紙」…2-5
歴史祭りをカメラルポ…8-9
▷市営住宅に住みませんか…6
▷追放しよう〝酒酔い運転〟…7
▷元日に「全国実業団駅伝」…8
▷「水泳教室」で冬も元気に…9
▷新成人は1月15日にぜひ…10
▷乳幼児を臨時にお預かり…11
▷市地婦連会長の神谷さん…12

ゴミ減量

クリーンな年末年始

12月31日～1月3日
収集は休みです

年末年始はゴミの多い時期ですが、一度に出されると、収集や焼却が追いつきません。大掃除を早めにしたりゴミの減量化や資源化に努め、いっぺんに多くのゴミを出さないようご協力ください。

●年末年始のゴミ収集

年末は12月24日(月)（振替休日）も収集し、12月30日(日)まで行います。30日の収集は31日(月)分の繰り上げ収集となります。年始は1月4日(金)から開始します。それ以外は指定日まで家庭で保管してください。コンテナ収集も同様に休みます。家庭からの一般ゴミについての問い合わせは清掃事務所☎(53)1009へ。

いっぺんに出さないで―

●事業所のゴミは自己搬入

会社や商店など事業所のゴミは12月20日(木)まで、清掃工場亀泉分場☎(69)1783へ連絡のうえ搬入してください。年始は1月4日(金)からです。

●し尿収集

年末は12月29日(土)正午まで、年始は1月4日(金)から行います。問い合わせは清掃事務所南部出張所☎(21)0020へ。

●犬・猫の死体処理

年末は12月30日(日)正午まで、年始は1月4日(金)から受け付けます。搬入先は亀泉分場です。

○：問い合わせは清掃課☎内線3274へ。

大好き前橋マイタウン

ワイド版

今回のテーマ
盛んです、「町の広報紙」発行

手作りの味

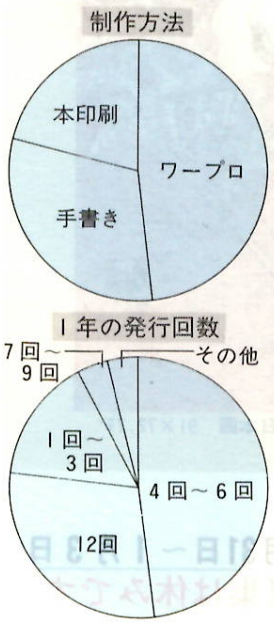
「ピッカピカの一年生紹介」「わが町の文化財」「自治会館の改築を」「清掃当番を守ろう」――地域のにおいのプンプンする記事が満載の「町の広報紙」です。多くの町で、今、住民の手による広報紙が発行され、〝町づくり〟に大きな役割を果たしています。ここでは木村宗平さんからの要望もありましたので、「第一回・町の広報紙まつり」に寄せられた広報紙を参考にして「町の広報紙」にスポットを当ててみました。

52町が「まつり」に参加、創刊が相次ぎブームのよう。自分の町への〝愛着〟の表れです。

今年初めて開かれた「広報紙まつり」に参加したのは、五十二の町。本市には約二百の町(自治会)がありますが、不参加やその後の創刊を含めると、およそ三分の一の町で広報紙が発行されています(3ページ参照)。

昭和四十八年の創刊（堤町北区）というのもありますが、七割近くの町が、ここ二、三年の創刊で、ブームのようです。これには①昭和六十一年度から各町に生涯学習奨励員が置かれ発行体制が整った②ワープロなどの普及で個人の編集がしやすくなった③町づくりに情報が欠かせなくなった――などの事情が考えられます。しかし、一番の要因は、自分の住んでいる町をよりよくしていこうという、各町のみなさんの熱意の表れではないでしょうか。

制作方法は、ワープロが二十五、手書き十六、本印刷十一でワープロ使用が目立ちます。発行回数は、毎月という所もありますが、年四回～六回の所が多いようです（円グラフを参考にしてください）。



高い関心、町活動の活性化に大きな役割。

住民の手によって作られた広報紙、各町の〝町づくり〟を確実に支えているようです。町の動きが分かる、町への理解が深まる、住民同士のコミュニケーションに有効だ、学習意欲が高まるなど、町の人たちに高い関心を持って受け入れられ、各種町活動の活性化に大きな役割を果たしています（5ページに読者の声）。

また、編集する側の人たちからも、自分の町を見直す機会になった、編集の技術を学んだなどの声が寄せられています（4ページに町の編集者を紹介）。

声 voice

私の町でも発行したいのですが。

第一回の「広報紙まつり」が開かれたと聞いています。私たちの町では、まだ広報紙を発行していませんが、友人宅などで町の広報紙を見ると、立派なものが出ているようです。ほかの町ではどのようにして、広報紙を作っているのかを知りたいと思います。私の町でもこれから広報紙を発行したいと考えています。

下大屋町　木村　宗平　農業　70

町の広報紙

地域のにおい

身近な話題がにぎやかに

住民や町の歴史が登場、楽しいイラストも。

それでは、「町の広報紙」にはどんな内容が掲載されているのか見てみましょう。

ほとんどの町で、納涼祭や文化祭、運動会、町内清掃など身近な行事を載せています。また、クラブ紹介、各種団体の役員紹介も多く見受けられます。

●シリーズで人を紹介

そんな中で、目を引くのが住民登場です。例えば、「水神」（南町二丁目）には、バーベキュー大会に参加した三家族の談話が、写真と一緒に紙面をにぎわせています。「住吉町二丁目だより」では、百歳の人をはじめ十二人の俳句を掲載。そのほか十四紙でも、俳句や短歌で紙面が飾られていました。「ニュース生涯学習」（龍蔵寺町）にも、シリーズ物「趣味に生きる人№６」で、三十年もサツキに取り組んでいるお年寄りが紹介されています。

また、文化財や歴史を扱った広報紙も十一紙ありました。「紅二だより」（紅雲町二丁目）では、町の変遷や神社を写真を入れて探究しています。「ふるさと小相木」（小相木町）でも、神社仏閣を連載で紹介。二百年前と現在の戸数・耕作地などを比較した「荒砥川」（今井町）の記事は興味深いものでした。

●町で作った長寿番付

見やすさに工夫を凝らした広報紙として、イラストをうまく配した「道くさ」（西大室町）や、町の長寿番付を作った「植野自治会たより」（総社町植野）、国勢調査の調査区を地図で表した「自治会ニュース」（日吉町四丁目）などがあります。

そのほか、少し変わったところでは、「あさひ」（朝日が丘町）の赤城寝牛の紹介。「広報ふれあい」（下川町）の図書の推薦。「立石だより」（総社町植野立石）の「はっぴの不用品の呼びかけ。「自治会だより」（山王町一丁目）は、切り取れば納涼祭の招待券になるようになっています。

「わあ、家族みんなが載っている」　南町二丁目・小林久志さん一家

ゴミ問題や集会所建設など町の課題を展開。

一方、町の抱えている課題を取り上げている所もあります。

●やはり切実〝ゴミ問題〟

ゴミ問題は身近で切実な問題、多くの広報紙で扱われていました。特に、「並木だより」（天川大島町本町）では、ゴミ集積所の写真十数枚で特集を組み、「きれいな町を」と訴えています。「大利根」（大利根町）には、ゴミコンテナ廃止の説明会に出席した内容が詳しく書かれています。

自治会館改築の動きのある天川大島町原町では、必要性や市の補助金、他町の状況などを「わがまち」で分かりやすく展開。上武道路が通る堤町北区では、「北区自治会報」で安全性、環境問題について更に要望を続けていくと、書かれていました。

●町誌編さんを呼びかけ

また、「自治会ひろば」（下新田町南）は、班会議の重要性を訴えています。「南三町内だより」（南町三丁目）には、懸案の「夜遊び族追放」の記事が掲載。「江田町生涯学習だより」では、町誌編さんのため資料の提供を呼びかけたりしています。

タイトルも工夫を凝らして

ほかの町の〝力作〟にも関心

わが組６組

平和町二丁目６組を紹介します。戸数36戸、人口95人、二丁目の内一番戸数の小さい組で、東側は一丁目に面しています。……15年前は戸数49世帯でしたが、15年間に13世帯も少なくなっている状態です。年齢・男女別の人口は表（略）のとおりです。次に、職業別を見ますと建築業２、医師１、旅館１、勤め人22、自営２、司法書士１、無職６、組合１の内訳です。……町のますますの発展を望みたいものです。（「平和二だより」第10号から）

広報紙まつり

参加作品が一堂に

「町の広報紙」が全員集合――「広報紙まつり」に参加した、五十二か町の広報紙が、九月に市民文化会館で、先月には中央公民館で展示されました。

訪れた人たちは、住民の手による〝手作りのミニコミ紙〟を興味深そうに見入っていました。中には、県外からわざわざ足を運んだ人も。ここでも「町の広報紙」への関心が、ますます高まっている様子がうかがえました。

「広報紙まつり」参加作品（自治会名簿順）

広報紙名（出品号）	自治会名	年発行数	制作方法
平和二だより（第10号）	平和町二丁目	6回	ワープロ
国一だより	国領町一丁目	不定期	手書き
住吉町二丁目だより（第１号）	住吉町二丁目	2回	〃
若四だより（第１号）	若宮町四丁目	12回	〃
ひよさん（第２号）	日吉町三丁目	〃	〃
自治会ニュース（盛夏号）	日吉町四丁目	4回	〃
大手町三丁目通信（第１号）	大手町三丁目	〃	本印刷
町内だより（第３号）	紅雲町一丁目	6回	ワープロ
紅二だより（第５号）	紅雲町二丁目	4回	〃
文一回覧（第48号）	文京町一丁目	12回	手書き
文三たより（第88号）	文京町三丁目	〃	〃
水神（第６号）	南町二丁目	3回	〃
南三町内だより（第６号）	南町三丁目	4回	ワープロ
第一あまがわひろば（第６号）	第一天川町	6回	手書き
自治会だより（第19号）	朝倉町一丁目	12回	ワープロ
あさくらまち生涯学習だより（第２号）	朝倉町一丁目～四丁目	1回	本印刷
自治会だより（第98号）	山王町一丁目	12回	ワープロ
しみずっかわ（第８号）	東善町	4回	〃
鶴光路町だより（第３号）	鶴光路町	6回	〃
広報ふれあい（第44号）	下川町	〃	本印刷
わたしたちの勝沢（第35号）	勝沢町	12回	手書き
町報こうづか（第７号）	幸塚町	3回	本印刷
広報しもおき（第23号）	下沖町	12回	ワープロ
西片貝町だより（第37号）	西片貝町	〃	本印刷
北区自治会報（第197号）	堤町北区	12回	ワープロ
のぞみ（第９号）	前箱田町	4回	〃
大利根（第28号）	大利根町	2回	本印刷
自治会ひろば（第24号）	下新田町南	6回	ワープロ
しもしんでんだより（第２号）	下新田町	12回	〃
なかま（第30号）	光が丘町	随時	手書き
あさひ（第６号）	朝日が丘町	2回	本印刷
ふるさと小相木（第19号）	小相木町	6回	ワープロ
ふるいちだより（第６号）	古市町	6回	〃
しんまえばしだより（第８号）	新前橋町	4回	手書き
江田町生涯学習だより（第３号）	江田町	2回	本印刷
いなば	元総社町78区	4、5回	手書き
学習いしくら	石倉町中部	4回	ワープロ
すがらす（第32号）	総社町総社巣鳥	〃	手書き
あわじま（第37号）	総社町総社粟島	12回	〃
立石だより（第９号）	総社町植野立石	6回	〃
植野自治会たより（第10号）	総社町植野	4回	ワープロ
糸ぐるま（第10号）	上小出町	6回	〃
ニュース生涯学習（第13号）	龍蔵寺町	7回	〃
荒牧町だより	荒牧町	3回	〃
せきねまちだより（第２号）	関根町	8回	〃
並木だより（第181号）	天川大島町本町	12回	本印刷
わがまち（第39号）	天川大島町原町	6回	手書き
駒形町だより（第98号）	駒形町	12回	本印刷
とみだ（第２号）	富田町	4～6回	〃
道くさ（第33号）	西大室町	12回	ワープロ
いいどい（第10号）	飯土井町	6回	〃
荒砥川（第４号）	今井町	〃	〃

今回のテーマ

盛んです、「町の広報紙」発行

こちら〝町の編集局〟です

企画から原稿書き、レイアウト、印刷まで、町の人たちの手によって発行されている「町の広報紙」。どんな体制で、どのように編集されているのでしょうか。今回は、駒形町、第一天川町、紅雲町一丁目の広報紙作りの現場におじゃまし、〝町の編集局〟を直撃リポート。

町ぐるみ〝創刊10年目〟

駒形町だより

■「又は、またのほうが」

「既存二路線は必要、又、区画整理以外の……」「そこの又はひらがなのほうがいいんじゃないかな」――「駒形町だより」（第百十号）の校正作業が同町会議所で行われています。最終チェックとあって、みなさん真剣そのもの。

「駒形町だより」は昭和五十六年八月一日に手書き印刷で創刊。本印刷になったのは五十七年四月一日（第九号）から。昨年四月からは十五日付けで各家庭に配られています。現在の印刷部数は二千七百部、年十二回の発行です。

■スタッフは組代表36人

編集は同町の自治会文化部が担当、部員は三十六人で町内の十八組から二人ずつ選出。編集には六人が交替で年二回ずつ携わり、文化部長の岡崎紘一さん（五二）と二人の編集長は常時、メンバーとして加わります。

編集担当者が集まりやすいように会議などの日程も決まっています。毎月、二十五日に全体会議を開き、原稿を持ち寄ります。翌月一日には文化部長や当番の部員らで原稿整理や紙面の割り付け。翌日、印刷業者に原稿を提出。校正は発行日の二、三日前に行います。

■転入者の紹介も

文芸欄や転入者の紹介、前月分の有価物代金を毎号掲載。町や組の行事まで身近な記事を中心に扱っています。課題は「内容を何にするか、早めに企画したい」「もっと多くの記事を載せたい」など。ほとんどの編集者は昨年四月から担当。「前の号を参考に編集しています」「人の名前や数字は、特に注意しています」とはみなさんの話。校正が終わったのは夜の十時でした。

時には笑顔も飛び出して――夜遅くまで校正作業が続きます

〝町民登場〟を心がけて

町内だより・紅雲町一丁目

■現在は再生紙使用

紅雲町一丁目の広報紙「町内だより・紅雲町一丁目」の創刊は今年三月一日。B4判両面印刷で、ワープロを使って作成しています。印刷部数は五百六十部、隔月に年六回発行。一、二号は上質紙、三号からは再生紙を使用しています。「町のことに関心を持ってもらおうと、発行したんです」と生涯学習奨励員で編集長の木村文三さん（七五）。

■インタビューも和やか

十一月発行の五号では前橋まつりを特集し、写真や子供たちの感想などの掲載を予定。この日は、町の祭典委員長にインタビュー。「祭りが無事に終わってよかったですね」「これもみなさんの協力のおかげですよ」。

編集委員は自治会や老人会、婦人会、子供会育成会から一人ずつ参加。ワープロは編集長の妻である木村キミエさん（七三）が担当し現在、六人で編集。「なるべくたくさんの人が登場するよう心がけています」とみなさんが語ってくれました。

今日はみんなで町の役員さんを取材

夫婦で作るタウン情報

第１あまがわひろば

■「町を知ってもらおうと」

「十一月十五日付けの広報紙で、十号になりました」と話してくれたのは、「第一あまがわひろば」の編集に携わっている寺井寛二さん（六八）。生涯学習奨励員で妻の治子さん（六七）は「町のことをみなさんによく知ってもらうために、とにかく広報紙を出さなくてはと思って……。夫の協力で昨年五月に発行したんです」と出来上がったばかりの広報紙の原本を手にしながら話してくれました。

■２人で役割を分担

寺井さん夫婦二人が編集に携わり、年六回、隔月に五百部を発行。B4判両面刷りで、手書きの広報紙です。原稿整理や見出し、レイアウトは寛二さんが、治子さんは各種団体との交渉や原稿依頼などを担当。印刷は中央公民館で行っています。

■県展の入賞者も調査

掲載内容は行事のお知らせや報告、生涯学習の啓発記事などが中心で、住民の登場も考慮しながら編集しています。今号は、県写真展の入賞者や優良運転者の表彰者などが紹介されています。「県展の会場や交通安全協会へ出かけ、町内の人で該当者がいないか調べたんです」。親しまれる広報紙を目指して夫婦一緒の共同作業が続いています。

印刷前に２人で入念なチェック

わたしたち〝町の編集人〟

●住吉町二丁目だより

筆ペンで仕上げ

北村三郎さん(64)

住吉町二丁目・会社嘱託

手書きの広報紙を年２回、発行しています。筆ペンで清書していると熱中して深夜になってしまうことも。町に住む人たちの姿を、できるだけ多く紙面で紹介していきたいですね。

●ふるさと小相木

多くの人の声を

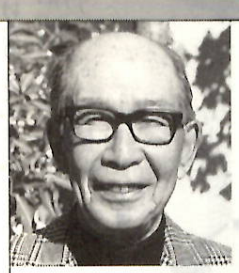
飯野千枝子さん(62)

小相木町・主婦

女性６人で年６回発行しています。取材や原稿書き、割り付けも大変。でも、町のお役に立てればと思って、頑張っているんです。できるだけ多くの人の声を吸い上げていきたいわ。

●並木だより

創刊号から15年



斉藤　保さん(73)

天川大島町・自治会役員

創刊号から編集しているので15年になります。毎号、編集するのが楽しみですね。自治会のお知らせが中心ですが読者の立場に立ち書いています。〝親ぼく・交流・融和〟が基本ですね。

●植野だより

視野が広がって

榎田すみ子さん(60)

総社町植野・主婦

今年の４月から〝初の女性編集者〟として参加しました。この手で編集をしてみて、自分の視野が広がったような気がします。次号が楽しみに待たれるようなものを、ぜひ作りたい。

●道くさ

自分の勉強にも

井上善之助さん(73)

西大室町・農業

昭和62年７月の創刊から携わっています。地元のことをよく知っているということで、町の歴史について書いているんですよ。取材をすることが多く、自分の勉強にもなっています。

藤嶋清多市長

市長トーク

町を愛する熱意に感激

――「町の広報紙」を見ての感想を聞かせてください。

大変立派なものが発行されているんですね。驚いていま す。自分の町を愛し、よりよい町にしようという熱意がひしひしと伝わってきます。関係者のみなさんのご努力に敬意を表したいですね。

――どんな記事が目に止まりましたか。

町の行事やクラブの紹介など、身近な話題がたくさん載っていますね。町の歴史や文化財の記事は、自分の町の理解を深めます。子供たちの登場もほほえましいですね。

――「町の広報紙」の持つ役割はなんでしょう。

都市化が進んでくると、住民同士のコミュニケーションを図ることが難しくなってきます。このような今、まちづくりの基本となる町がしっかりまとまっていただくことが大切です。町の活性化は市全体の活性化につながります。「町の広報紙」の果たす役割は、非常に大きいんじゃないでしょうか。

――「町の広報紙」に期待することは？

現在は情報化の時代、こうした活動がより広く、より活発になることを期待しています。大変苦労して作られている広報紙ですから、住民の方もよくお読みになって、自分の住む町に一層の関心を持っていただきたいですね。

「ワープロ」を学ぶ姿は真剣そのものでした　城南公民館で

勉強会など熱心に

●見出しを飾るには…
●写真を使いたい…
●ワープロのメリットは…

「見出しに飾りを付けるにはどうしたらいいのかな」「写真も使ってみたい」「ワープロの利点は？」――町の広報紙活動が盛んになるにつれて、もっと読みやすくしようと、町や地区で勉強会が開かれています。

先月十日には、城南公民館で同地区の十二か町の広報担当者が集まり、「町の広報紙」について考え合い、ワープロの講習会を持ちました。ほとんどの人がワープロを扱うのは初めて。専門家の指導を受け、カーソルの動かし方、漢字への変換など、基礎からみっちり学びました。

こうした取り組みが、町の広報紙のこれからの充実につながることは間違いありません。また、「広報紙まつり」を機会に町同士の交流も広がっています。ほかの町の広報紙に触れたり担当者同士で情報交換したりすることが、とても役に立っているようです。

これから広報紙の発行を考えている町は、こうした〝先輩町〟の取り組みを参考にしながら発行の準備を進めたらいかがでしょうか。

市も応援します

――費用・編集・印刷をお手伝い

ますます広がりを見せる町の広報紙の発行ですが、市でも、こうした活動を側面から応援しています。

費用の問題では、既に三十九の町が市の町別生涯学習助成金を利用しています。町で開く研修会に講師を派遣する制度もあります。いずれも社会教育課で扱っています。町の生涯学習計画の中で考えたらいかがでしょう。編集技術的なことは、広報課や市の公民館に相談してください。広報課には簡単な資料もあります。印刷についても、自分の所でできない場合には、近くの公民館の印刷機が利用できます。活用してください。

●次回のテーマは「国民年金――老後を考える」

「大好き前橋マイタウン・ワイド版」、次回のテーマは「国民年金」を予定しています。国民年金のしくみ、年金の種類などを知っていただき、「豊かな老後」をみんなで考えたいと思っています。ご意見ご要望などをお寄せください。

問い合わせは広報課☎内線３５２２へ。

「広報まえばし」からエールを送ります

〝町らしさ〟を大切に

今回の「広報紙まつり」の審査にかかわって、参加した町の広報紙に触れる機会がありました。「広報まえばし」を編集している立場から、印象をひと言。まず、仕事や家事の傍ら、ボランティアとして取り組まれているわけですが、ほとんどが相当なレベルの出来です。同じ編集者として、苦労したり研究したりしている様子が手に取るように伝わってきました。

内容的には、身近な情報や話題が中心でとてもよいと思います。また、町で課題になっていることを取り上げているものもあり、考えさせられました。ただ、例えば、役員のあいさつだけとか、クラブの紹介だけというのも見受けられました。なるべくいろいろな要素をバランスよく掲載すると、ずっとよくなります。

レイアウトの面では、写真やイラストを使って見やすい工夫がされています。いくつかの町のものは、専門家が作ったような仕上がりでこちらも大変参考になりました。しかし一部には、まだ回覧板のようなものもあります。記事の区分けをしっかりして、見やすさ分かりやすさに心がけてください。ワープロでの制作が主流ですが、手書きには手書きの良さがあります。自由さと温かさを更に生かしましょう。

そして、あなたの町にしかないもの、〝町らしさ〟を大切にして編集に当たってください。より親しまれる広報紙を目指して、お互いに頑張りましょう。

広報課

配られるのが楽しみです

岩沼良江さん

生活や仕事にも役立つ

生活に役立つ身近な情報が多く、毎回楽しみにしています。仕事がら地元の話題は大切で、これからも地域に密接した情報を期待します。(下沖町・理容師・34歳)

井野勝弥さん

情報が心のつながりに

町内のクラブ活動が詳しく紹介されているので、楽しく読んでいます。町の小さな情報が心のつながりを作っていくのですね。(朝倉町四丁目・会社顧問・64歳)

北村真美さん

載せてもらって大喜び

友達とか子供のことが出ていると、よく見ます。私も２回載りました。バレーボールの仲間と紹介された時には、みんなで大喜びしました。(下川町・七中２年)

渡辺　久さん

手作りの魅力を大切に

前任の編集者なので、出来上がるまでの苦労をつい考えてしまいます。手作りだから「完成されない魅力」を大切にやってほしい。(下新田町・会社員・53歳)

鈴木はなさん

興味のある身近な歴史

お知らせ記事ではなく、町の歴史のことが毎号載っているんですよ。身近なことなので、興味深く読んでいます。発行が待ち遠しくて。(勝沢町・主婦・70歳)

渋川理希雄さん

地域行事を盛り上げる

町の歴史や伝統的文化が紹介されていていいですね。こういうことで、どんど焼きなど身近な伝統行事が、より盛んになるのでは。(龍蔵寺町・公務員・40歳)

市営住宅 入居者を募集

清里前原団地に48戸を新築

快適な生活

快適な環境で生活いきいき――。今年度第二回の市営住宅の入居者を募集します。新設の清里前原団地のほか、南橋・芳賀団地などの既設住宅の公募も行います。申し込みの受け付けは今月十日(月)からです。

新設住宅

新設の市営住宅の概要は表1のとおりです。建設戸数は四十八戸。入居は来年四月一日(月)を予定しています。

通学区、駐車場、ガスなどは次のとおりです。

通学区＝清里小、六中　駐車場＝一戸に一台、有料。団地入居者代表と当該自治会で管理運営　供給ガス＝プロパンガス　設備など＝①浴槽、かま（バランス式）、一部の照明器具は入居者が設置②入居後は共同施設の使用料などを負担

□入居するための主な条件

①市内に居住しているか勤務場所があり住宅に困っている②職業に従事し独立の生計を営む親子や夫婦（婚約者を含む）を中心とする二人以上の家族③入居世帯の所得が基準内（基準月収額＝第一種十万一円～十六万二千円、第二種十万円以下）であること④既に市営住宅や県営住宅に入居または入居決定している人を除く――などです。

□入居者の選考

第一次選考（資格審査）＝書類審査を行い入居資格の有無を決定し通知　第二次選考（抽選）＝申込区分ごとに抽選し入居者を決定（来年2月の予定）

既設住宅

既設の市営住宅の入居者も募集します。この募集は入居あっせん有効期間（次の公募日＝来年七月を予定＝まで）に既設住宅に空き家が生じた場合、抽選順位に従い順次あっせんするものです。期間内に空き家が生じない時は失効となります。ご了承ください。

団地名、家賃などは表2のとおりです。入居者の資格・選考などは新設の場合に準じます。

問い合わせは住宅課 ☎内線３８０７へ。

申し込みの日程

申込用紙・公募要領の交付―12月10日(月)～15日(土)　申し込みの受け付け―12月10日(月)～19日(水)、いずれも日曜を除く午前８時30分～午後５時（土曜は正午まで）

場所―市役所８階住宅課　その他―詳しいことは公募要領をご覧ください

88団地に1万4000人

市営住宅は、市民が安い家賃で快適な生活を送れるようにと建設。本市で初めて建設されたのは昭和二十一年、若宮町三丁目と六供町の百五十戸。現在、三十二地区八十八団地四千八百八十八戸に、一万四千四百三十一人（市人口の五％）が住んでいます。

「子供たちが安心して遊べますし、団地の人との交流も深まりますね」――日曜日には敷地内の公園で、家族一緒に過ごすことが多いようです。（西片貝団地・小山義之さん一家）

住んでから30年に

瀬谷卦太郎さん(62)
天川町・会社員

天川団地に引っ越してきたのが昭和34年だから、もう31年にもなるんですね。当時の家賃は980円でした。10年前に、平家から３、４階への建て替えがあり、６棟108戸の管理人を引き受けています。

大岩美由紀さん(26)
青梨子町・主婦

広くてモダンです

結婚して５月に入居しました。市営住宅は思っていたより、モダンでおしゃれな造りですよ。友達も遊びに来て、広くてきれいねとうらやましがっていました。物の収納場所が広いのも助かりますわ。

表１　新設市営住宅の概要

団地	申込区分	種別	階数	建設戸数	間取り	家賃(円)
清里前原	A	1	4	4	3DK（6.6.6.DK）	41,600
	B			4	3DK（6.6.6.DK）	40,000
	C			4	3DK（6.6.6.DK）	39,500
	D	2	4	8	3DK（6.6.6.DK）	30,500
	E			8	3DK（6.6.6.DK）	30,500
	F			8	3DK（6.6.6.DK）	29,500
	G		3	12	3DK（6.6.6.DK）	30,500

①表中の家賃は、1・2階の金額です。3階から階を増すごとに100円ずつ低額になります　②間取りの（　）内の数字は畳数、DKはダイニングキッチンです。

表２　既設の市営住宅

団地名	戸数	間取り	家賃(円)
南橋	782	2K～4LDK	4,600～40,900
芳賀	498	2K～4K	11,100～26,700
江木	300	2K～4DK	7,500～39,100
岩神	199	2DK～4DK	16,900～42,700
昭和	129	2DK～3LDK	23,000～44,500
国領	136	3K～4DK	10,300～43,800
城東	188	2DK～4DK	22,200～36,000
六供	12	3DK、2LDK	26,800～34,900
日吉	38	2LDK、3LDK	22,600～31,700
元総社	189	2DK～4DK	23,200～43,300
朝日町	100	3DK	17,800～29,300
関根	60	3DK	17,600～25,000
古市	44	3DK	29,500～29,800
古市改良			
南町改良	30	3DK	18,400～18,700
日吉町改良	56	3DK、3LDK	26,700～31,200
若宮町再開発	22	3DK	39,300～39,500
朝日第２	12	3DK	40,900～41,200
若宮第１	6	3DK	32,400
南第１	28	2DK、3DK	38,500～45,200
南口改良第２	30	2DK、3DK	30,600～35,900
文京第１	30	2DK～4DK	30,600～42,700
天川大島第１	15	2DK、3DK	24,700～35,700
西片貝	54	2DK、3DK	26,000～36,800
清里前原（今年5月入居分）	33	3DK	27,800～40,500

※　広瀬・朝倉・天川・後閑団地については公募を行いません。

市政スポット MAEBASHI NOW

☆競輪場、40年の歴史にピリオド

多くのファンに親しまれてきた競輪場が、先月11日に40年の歴史に幕を閉じました。フィナーレの式典では詰めかけた観客に市長があいさつ。これから競輪は、グリーンドームに場所を移し開催されます。

☆定例市議会が開会中

先月二十八日から、平成二年第四回定例市議会が開かれています。昨年度各会計決算の認定や条例の改正などを審議。会期は二十一日までです。

☆地区の文化祭多彩に

この秋、各地区で多彩に文化祭が繰り広げられました。芳賀地区でも、作品の展示や芸能発表、切り絵の体験などの催しが新芳賀公民館を会場に開催。

☆盛況の市民展秀作展

市民展の入賞作品二十四点を一堂に集めて展示――。市立図書館で先月二十七日まで、市民展秀作展が行われました。たくさんの芸術愛好家が鑑賞に。

☆平成大橋が3月完成

昭和六十一年から建設を進めてきた、「平成大橋」が来年三月に完成します。長さ二百十五㍍で四車線。利根川に架かる本市の橋としては七番目です。

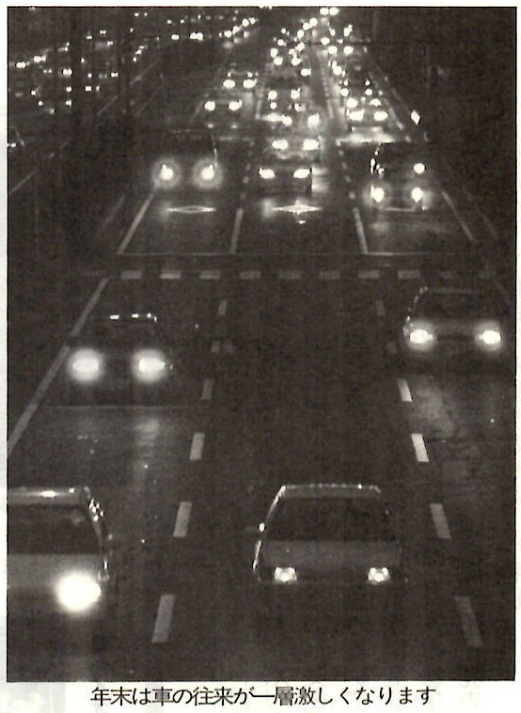
☆住居跡が埋め戻しに

前号でお知らせした内堀遺跡の階段状の施設を持つ大型竪穴式住居跡。今月、保存するために埋め戻されます。大室公園構想の中で役立てていく予定。

酔払い運転追放

冬の交通安全運動

酔っ払い運転を追放――。「冬の県民交通安全運動」が、今月十一日から三十一日まで実施されます。年末は飲酒の機会が多く、また仕事上の気ぜわしさも加わるせいか、毎年交通事故が多発します。車を運転する人はもちろん、歩行者や自転車のみなさんも、事故を起こさないよう遭わないように十分注意しましょう。


年末は車の往来が一層激しくなります

●飲酒運転はみんなが迷惑

酔っ払いの車は、ルールを守っている人や車を突然襲い、しばしば大事故を引き起こします。そして、その人の家族ばかりでなく、ほかの家族の平和をも破壊します。飲酒運転は、みんなに迷惑で危険な行為なのです。

では、なぜ飲酒運転が後を絶たないのでしょうか。それは「ほんの一杯なら……」「少しの運転なら…」という安易な考えからくるようです。年末は忘年会など飲酒の機会が多くなります。次の運動を進めて、みなさんの平和を守りましょう。

〝飲酒運転四ない運動〟
①飲んだら運転しない②運転するなら飲まない③運転する人には飲ませない④飲酒運転を許さない。

●歩行者も気をつけて

歩行者や自転車利用者は次のことを守りましょう。①急な飛び出しをしない②道路を横断する時は左右の安全を確認する③信号や一時停止標識を必ず守る④夜間の外出には白っぽい服装や反射材を身に着ける⑤自転車は特に左側通行を厳守する。

●シートベルト付けて

シートベルトは、交通事故に遭った時の被害を大幅に減らします。また、正しい運転姿勢を維持し、疲労を軽減するなどの効果もあります。運転者はもちろんのこと、同乗者も必ずシートベルトを着用しましょう。

○…問い合わせは生活課☎内線3237へ。

前橋警察署
上山武署長

細心の注意を払って

自動車は大変便利な乗り物ですが、靴を履くのと同じ感覚で車を運転されては困ります。ハンドルを握ったら細心の注意を払ってほしいですね。事故防止は、やはり最後は一人一人の自覚なんです。

「寄付の禁止」守ろう

金のかからない政治を実現

公職選挙法が昨年十二月に一部改正されました。この改正は金のかからない政治の実現と選挙の公正の確保を目指したものです。次に掲げた寄付などをした場合には、懲役・禁固・罰金の罰則が科せられます。

●政治家寄付は罰則付き禁止

政治家が選挙区内の人に寄付をすることは、原則として、どんな名義でも禁止され、罰則の対象になります。例えば、忘年会、新年金に寄付することも含まれます。

●寄付を求めることも禁止

政治家に、寄付を出すよう勧誘や要求をすることも禁止されています。政治家を威迫したり政治家の当選や被選挙権を失わせる目的で、勧誘や要求をすると処罰されます。

●時候のあいさつ状は禁止

政治家が選挙区内の人に、年賀状などの時候のあいさつ状(電報も含む)を出すことは禁止されています。ただし、答礼のための自筆によるものは出すことができます。

●有料のあいさつ広告も禁止

政治家や後援団体が、選挙区内の人にあいさつを目的として新聞・雑誌・テレビ・ラジオなどに、有料の広告(名刺広告など)を出すと処罰されます。

また、政治家や後援団体に、あいさつを目的とする有料の広告を出すように求めることも禁止で、威迫してそれを求めると処罰されます。

●後援会の寄付は禁止

後援団体が、花輪、供花、香典、祝儀その他これらに類する寄付をした場合、その時期にかかわらず処罰されます。

○…問い合わせは選挙管理委員会☎内線3622へ。

一人一人が火の元点検

10日から火災予防運動も

ちょっとした油断が思わぬ大火に――。今月十日から三十一日まで「歳末火災予防運動」を実施します。年末は慌ただしさから火に対する注意力がおろそかになりがちです。一人一人が火の元の点検を行い、楽しいお正月を迎えましょう。

□期間中の主な行事
①こけし工場の立入検査②バーなど風俗営業施設の立入検査③デパートやスーパーなど大型店の消防パトロール④消防車の巡回広報⑤消防団による夜間巡視、水利保全。

□暖房器具の取り扱い
石油ストーブなどの暖房器具を取り扱う場合、特に注意してください。①使用前に点検する②消火してから給油する③暖房器具の周りには物を置かない④点火中持ち運びしない。

○…問い合わせは消防本部予防課☎㉔3211へ。

市職員の採用試験

消防職と技能労務職を13人

来年四月一日付けで採用予定の市職員(消防職、技能労務職)の採用試験を行います。

試験区分・採用予定数・受験資格＝下表のとおり　試験日＝1月13日(日)　申込用紙と試験案内の交付＝12月15日(土)までに市役所5階人事課、支所・出張所で。

郵送で請求する場合は封筒の表に「採用試験申込用紙請求」と希望職種を朱書し、七十二円切手をはったあて先明記の返信用封筒(定形封筒)を同封し、市役所人事課へ　申し込み期間＝12月3日(月)～15日(土)

○…詳しいことは「試験案内」をご覧ください。問い合わせは人事課☎内線3502へ。

市職員採用試験のご案内

区分	採用予定数	受験資格
消防職	3人	昭和42年4月2日～48年4月1日生まれの市内居住者(進学のため転出している人を含む)
技能労務職 清掃技士 用務技士等	約10人	昭和35年4月2日～48年4月1日生まれで、現場作業に従事可能な人

※　消防職員は、身長160cm以上、体重50kg以上などで身体強健であること。

〝国定忠治〟に拍手かっさい

上小出町公民館で先月十一日、「敬老会」が開かれました。この行事は、同町の親睦(ぼく)会が七十歳以上の人を招いて行われているものです。

会場は百五十人のお年寄りらで満員。踊りやカラオケに続いて、いよいよ「国定忠治・名月赤城山」の登場です。この芝居は、親睦会が二か月をかけて準備してきました。わらじ、手甲脚はん、ももひきなどの衣装や、ススキ、ササなどの小道具は、みんな手作り。模造紙十五枚を張り合わせて描いた背景の絵も、効果満点です。町民有志の熱演に拍手かっさい、みなさん大喜びでした。

「近ごろは、芝居を見る機会が少ないんでしょうね。大評判でした。これからもぜひやりたいですね」と親睦会会長の黒田貞夫さん(70)は話してくれました。

この欄へのお便りをお寄せください。企画部広報課まで。

◇

ふれあいポスト

我がまち歩いて新鮮な発見

天川町　川島サヨ子　54

先月十八日、「第二回前橋ウォーキングジャンボリー」の十キロメートルコースに娘と初めて参加しました。

出発点の前橋駅には、参加者たちが楽しそうに集まっていて、思ったより年配の人が多く驚きました。中には、赤ちゃんを乳母車に乗せた若いお母さん、足やんも参加していました。

日ごろ、せかせかと時間に追われ、車の中から見ていた街が歩くことにより全然違った街に見え不思議でした。広瀬川の緑地帯には「前橋にもこんな落ち着いた静かな所があったのか」と新鮮な発見があり、とてもうれしかったです。

実行委員の人々の気配りには、心から感謝しています。静かで歩きよく、眺めのよいコースを選んでくださり、ありがとうございました。日常、犬の散歩以外あまり歩くことのない私にとって今回の体験は、身も心もリフレッシュされ、有意義なひと時となりました。

また、来年も挑戦しようと思いながら、完歩証をいただき家路につきました。

ふるさとスケッチ

ぼけ封じ観音
渋川　妙子　62(龍蔵寺町)

町からこんにちは

市役所は、〒371 前橋市大手町二丁目12－1 ☎24－1111です。

カメラルポ

イベントいっぱいの日曜日(11/18)でした

●農業まつり

恒例の農業まつりが開かれ、家族連れで終日にぎわいました。新鮮な野菜が主婦らに大人気、子供たちは馬やウサギと遊んで大喜び―。

●ウォーキングジャンボリー

三つのコースに分かれ、第２回ウォーキングジャンボリーに1,000人が参加。街路樹の落ち葉を踏みしめ、〝ふるさとの秋〟を満喫しました。

●八木節のつどい

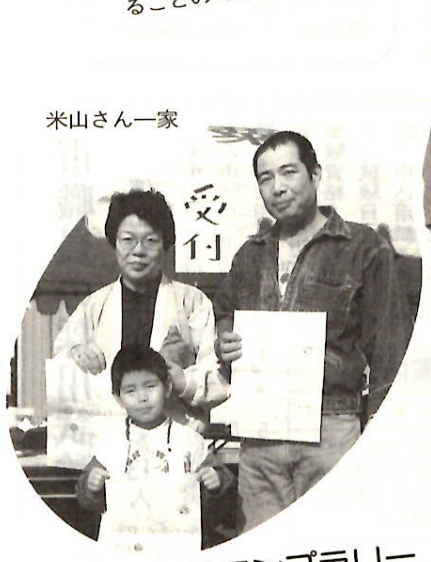
威勢のよいおはやしに合わせて、みんなで踊りました。市民芸術文化祭・八木節のつどいが多くの市民を集めて市民文化会館で開催。

元景寺　陳列された貴重な宝物にみんなの視線が集中

を訪ねて　秋元歴史まつり

小栗上野介旧宅　個人宅のため、ふだん見ることのできない家の内部もこの日は公開

スタンプラリー　全部回りました



米山さん一家

田子さん一家

貴重な文化遺産がたくさんあるんですね。身近な歴史を再発見できさわやかな一日でした。

飯塚さゆりさん　と　栗原理恵さん

市民スポーツ祭

☆アイススケート

１月12日(土)午後４時、県総合体育センター（関根町）。小学生以上の人（小中学生は保護者の承諾要、小学生以下は保護者同伴）。種別は①幼児混合②小１・２年男女③小３・４年同④小５・６年同⑤中学生同⑥10歳代男子⑦20歳代同⑧20歳以上女子⑨30歳代男子⑩40歳代同⑪50歳以上同⑫オープン男女⑬余興レース（参加者全員）。スピード競技のタイムレース。一人一種目（オープン・余興レースを除く）。距離は①二百㍍、②三百㍍、③四百㍍、④～⑪五百㍍、⑫千㍍。申し込みは12月17日(月)までに保健体育課☎内線４０３２へ。

☆スキー

１月27日(日)午前９時、片品高原スキー場（利根郡片品村）。小学生以上の人。種別は〈大回転〉①小学生低学年女子②同男子③小学生高学年女子④同男子⑤中学生女子⑥同男子⑦10歳代（高校生男子含む）⑧20歳代⑨30歳代⑩40歳代⑪50歳以上⑫一般女子（高校生女子含む）。参加費二百円。申し込みは12月21日(金)までに参加費を添えて保健体育課（☎内線４０３３）へ直接。

ウインタースポーツの季節

県民大会スキー　代表選手の選考

二月十七日(日)に行われる県民体育大会スキー競技会に出場する市の代表選手候補者を募集します。

種別＝10歳代～60歳以上の各年代別の大回転、女子大回転、リレー　申し込み＝12月14日(金)までに電話で保健体育課☎内線４０３３へ　その他＝１月27日(日)の市民大会に出場してください

1月27日に――　スキー交流会

スキーを通して青年の交流を深めませんか。

期日＝１月27日(日)　会場＝宝台樹スキー場（利根郡水上町）　対象＝一般青年、先着三十人　参加費＝三千円　申し込み＝12月10日(月)～20日(木)に青少年課☎内線４０４３へ

全日本実業団駅伝大会　元日を走る

元日の上州路を一流ランナーが走る――。第35回全日本実業団対抗駅伝競走大会が、本市を中心に開催されます。ＴＢＳテレビが全コースを生中継。みなさんのご声援とご協力をお願いします。詳しい内容については、次号でお知らせします。

日時―１月１日(火)午前９時45分、県庁スタート　コース（通過市町・距離）―前橋市→高崎市→前橋市→玉村町→伊勢崎市→境町→新田町→太田市→新田町→境町→伊勢崎市→前橋市、７区間総延長86.3㌔㍍　参加チーム―25チーム程度　問い合わせ―保健体育課☎内線4032

今月は正量取引強調月間

身につけよう 正しく計る目と心

今月は正量取引強調月間です――。今回は「身につけよう正しく計る目と心」がスローガンになっています。

物を「はかる」ことは、私たちの日常生活と深い関係を持っています。正しい計量とは、「正しい計量器を使用し、正しくはかること」です。市では、正量な取り引きを呼びかけています。今回は正しい計量についてのチェックポイントを紹介します。

□ポイント①＝正しい計量器かはかりは、県の検定や市で毎年行っている定期検査に合格した物が使ってあるか確かめましょう。検定に合格すると検定証印が、定期検査に合格すると証紙がはられます。

定期検査合格ラベル

検定証印

□ポイント②＝正しく使われているか

水平　はかりが、水平でしっかりした台の上に置いてあるかどうか確かめましょう。

ゼロ点　何も置いていない状態で正しくゼロの目盛りを指しているかを確かめましょう。

風袋引き　風袋（ふうたい＝入れ物・容器など）は意外と重いものです。風袋は商品ではありません。必ず差し引かれているか確かめましょう。なお、脂身やたれ、わさびなどの添え物は商品の内容量には入っていません(電気式のはかりには、風袋引き装置が付いています。正しく差し引かれているか注意しましょう)。

□ポイント③＝商品に適したはかりか

はかりには使用できる範囲が決まっています。薬を量るはかりではトラックの重さは量れません、その逆も不可能です。特に、単価が高い物や小量の商品などは、目盛りの細かい精度のよいはかりが必要です。

□ポイント④＝正しい表示か

商品を袋や容器などに密封して販売する場合は、正味量を正しく表記するほか、製造業者の氏名（名称）、詰め込み場所も表記することになっています。また、計り売りの場合は、はかりが見やすい場所にあるか注意してください。

○…問い合わせは商業観光課☎内線3606へ。

推薦してください 優良従業員

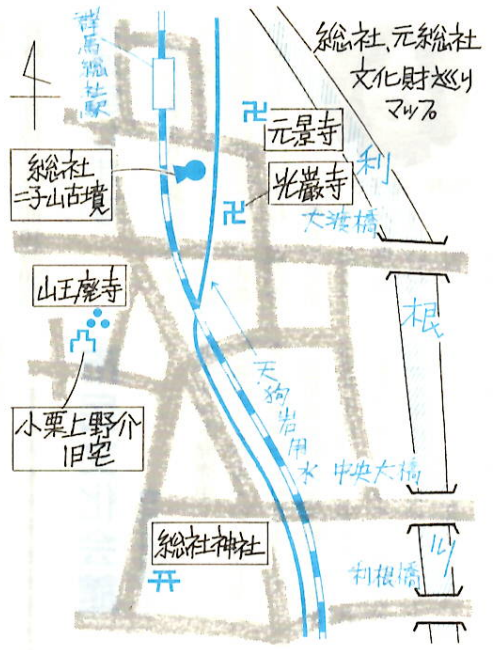
優良従業員の表彰を行います。事業主または同業団体、商店街団体の代表者は各事業所で該当者を推薦してください。

対象＝①市内の商工業、サービス業の従業員で勤務成績優秀で他の模範となり、同一事業所に男子は十年以上、女子は五年以上勤務する人を一般表彰②同一事業所に三十年以上勤務し、特に功労のあった人を特別表彰。ただし①②とも、事業所の役員や事業主の子供・兄弟など、パート従業員、過去に表彰された人は除きます　推薦用紙の交付・受付＝工業課と商工会議所で　締め切り＝1月10日㈭　表彰式＝2月19日㈫午前10時、商工会議所　問い合わせ＝工業課☎内線3615

光巌寺　天井一面に描かれた竜の姿に圧倒され、見学者から驚きの声が上がる一幕も

総社二子山古墳　被埋葬者の権力の大きさが現代に伝わります

ふるさとの「昔」



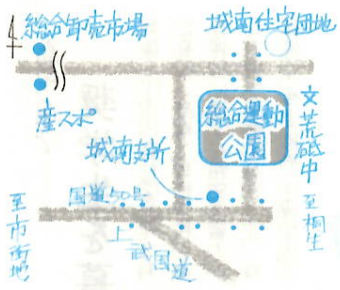
山王廃寺　見学者の目を引きつけた日枝神社内にある石製遺物

観光資源として総社の町並みをどう活用するか、熱心な討論も行われていました。

"観光資源"で討論も

総社神社　境内の舞台では祭り太鼓や太々神楽が華やかに披露

スポーツ Sports 教室



□肩凝り・腰痛の運動指導　12月15日㈯午後2時～4時、総合運動公園（荒口町）健康運動相談所。一般、先着三十人。肩凝りや腰痛を防ぐための注意点や運動方法の実技指導。申し込みは12月5日㈬午前10時から同公園（☎㊽1911）へ電話でまたは直接。無料。

□初心者水泳　1月～3月の毎週一回、合計十回。総合運動公園（荒口町）コミュニティプール。詳細は上表のとおり。水・慣れからクロール・平泳ぎで二十五㍍程度泳ぐ。申し込みは12月15日㈯までに往復ハガキで受講コース・曜日・参加回数・住所・氏名・年齢・泳力・電話番号を横書きして〒379－21前橋市荒口町四三七－二総合運動公園コミュニティプール「水泳教室」係へ（一人一通、抽選）。

初心者水泳教室

コース	A レディース	B 親子（3歳以上の未就学児）	C 5歳児・年長・小学生低学年	D 小学生	E 勤労者
参加費	3,000円	4,000円	1,000円	1,000円	3,000円
時間帯 / 講習日（初日）	午後0時20分～1時30分	午後1時50分～3時	午後3時20分～4時30分	午後4時50分～6時	午後6時20分～7時30分
月曜（1月14日～）	各50人	各20組	各50人	各65人	－
水曜（1月23日～）					－
木曜（1月10日～）					30人
金曜（1月11日～）		（F健康水泳 定員20人）注			－
土曜（1月12日～）	－	－	－	B40人 C40人 D40人 注	30人

注　Dコースの土曜日はB,C,Dの時間帯で行います。Fコースは参加費3,000円です。その他　付き添いの入場は利用券を購入してください。

卓球

八木 正雄さん　若宮町四丁目　無職・67歳

健康維持のために、週2回ラケットを振っています。胃の手術をしたので、今は少し控えめにしているんですが、春になったら、もっとバリバリやりたいですね。

市役所は、〒371 前橋市大手町二丁目12－1 ☎24－1111です。

児童館あんない

は毎週金曜

★朝倉児童館☎㊺1955
12月12日㈬＝伝承遊び（お手玉、手遊び）　12月14日㈮＝親子体操教室（午前10時30分から、指導・本多春美さん）　12月19日㈬＝クリスマスカード作り　12月25日㈫＝クリスマス会（午後1時30分から、先着百八十人、指導・阿部節子さん）　1月9日㈬＝お正月遊び▽行事は午後3時から▽本の貸し出しは毎日、読み聞かせは第2・第4火曜午後2時50分から

☎24－2548
児童文化センター

□天文教室「冬の星観察」
12月8日㈯午後6時～8時。一般、先着四十人。講師は大利根小教諭・清水英明さん。申し込みは12月2日㈰午前9時から同館へ。電話でも可、ただし来館者優先。
□親子教室「しめ縄飾り作り」
12月22日㈯午後1時～4時。小学生とその親、先着十五組。講師は大谷丑之助さん。参加費二百円。申し込みは12月16日㈰午前9時から同館へ。電話でも可、ただし来館者優先。
□子供映画会
12月16日㈰午後1時30分～3時。「母をたずねて三千里」「おばすて山の月」「虹に向って」定員百人。
□今月のプラネタリウム
毎週土曜午後3時、日曜午前11時・午後1時30分・3時。入場料大人五十円、中学生以下三十円。テーマは惑星シリーズ「赤い星・火星」、お話は「こうさぎのクリスマス」。
□今月の図画作品展
中央小、桃瀬小、荒牧小、桂萱中、神明幼稚園、若宮幼稚園。

図書館だより
☎㉔4311

□思い出の映画劇場
12月7日㈮午後2時～4時15分、「東京物語」（原節子、笠智衆主演）。
□お話の会
12月14日㈮午後3時～3時40分。「手ぶくろ」「十二支のはじまり」。出演は萌えぎの会。

学童保育所

市内に11か所

仕事を持つ父母が安心して働き、子供たちも学年を越えて学び遊べる学童保育所。下校から夕方帰宅するまでの間、遊びや生活指導など専任の指導員がお世話します。
対象＝小学生　保育時間＝下校時～午後6時（広瀬学童クラブは午後5時30分まで、元総社学童クラブは午後5時45分まで）
名称・住所・電話＝〈利根川教室〉昭和町三丁目☎㉝9362〈風の子学童保育所〉上新田町☎㉜3734〈南町学童保育所〉南町四丁目☎㉔1431〈あおぞら教室〉荒牧町☎㉞4711〈下川学童保育所〉新堀町☎㉕3647〈駒形学童クラブ〉駒形町☎㊻6866〈芳賀学童保育所〉勝沢町☎㊾9320〈江木学童保育所〉江木町☎㉝0433〈広瀬学童クラブ〉広瀬町二丁目☎㉝3066〈細井学童クラブ〉北代田町☎㉞9339〈元総社学童クラブ〉元総社町☎㉛2848
○…問い合わせは直接各施設へ。

成人祝
1月15日　新成人は、ぜひ出席を

楽しい催しで〝成人〟を祝い合う　昨年の「はたちのつどい」で

恒例の「成人祝」が一月十五日㈫に開かれます。該当する新成人のみなさんには、案内状を送付します。ぜひ、ご出席ください。
日時＝1月15日㈫午前10時30分～11時30分（受け付けは午前9時30分から）　会場＝市民文化会館　対象＝昭和45年4月2日～46年4月1日に生まれた在住者　内容＝記念式典と「はたちのつどい」　その他＝①当日は簡素な服装で出席してください②案内状を受け付けに提示してください③自家用車での来場はご遠慮ください④本市以外に居住（両親等は市に住民登録している）している人、外国籍（本市に住民登録をしている）の人で本市の成人祝に参加希望の人は、12月25日㈫までに青少年課へ直接（代理人の場合は、参加者の住所・氏名・生年月日・性別と保護者の住所・氏名・電話番号が答えられる人）⑤案内状（12月3日㈪発送）が届かない人は青少年課へ連絡してください
○…問い合わせは同課☎内線4042へ。

〝20歳〟の私たちが運営します

内山　正和さん

楽しい「はたちのつどい」となるように、新成人八十人ほどで準備を進めています。講演会だけでなく、新成人がお互いに多くの人と語り合えるような場を作りたいですね。（青柳町・学生）

広瀬　亮子さん

成人をあまり意識していない人が多いんじゃないかしら。人生の区切りの記念として、式典を盛り上げたいですね。親元を離れている人もたくさん出席してほしいわ。（南町三丁目・学生）

市民文化会館
☎㉑4321

●チケット発売中
□スウィングル・シンガーズ・クリスマスコンサート
12月9日㈰午後3時。入場料はS三千円、A二千五百円、B二千円。クラシックの名曲をボーカル用にアレンジしたスキャットコーラスの美しさをどうぞ。
□ウイーン・モーツァルト・オーケストラ
1月24日㈭午後6時30分。入場料はS六千五百円、A五千五百円、B四千五百円。当時の演奏スタイルと服装で十八世紀を再現したニューイヤーコンサート。
●鑑賞友の会の会員募集
平成3年度の継続会員・新規会員の申し込みを受け付けています。対象は原則として市内在住・在勤の人。入会金百円（2年度会員は不要）。年会費は千百円（来年4月1日～平成4年3月31日）。特典は①会館主催事業の入場料の割り引き②会館主催事業のチケットの年間予約（5回以上の人）③毎月会館が発行する催し物の案内と、主催事業の資料・会報の送付。申し込みは3月31日㈰までに同館、市役所総合案内、各プレイガイドにある申込用紙で同館へ直接または郵便振込（振込口座…宇都宮3・032498市民文化会館事業係）で。

まなびまなぶ

中央公民館で　アニメームと人形劇

クリスマスにちなんだ内容のアニメームと人形劇の公演を行います。子供から大人まで楽しめる内容です。ぜひおいでください。無料。
日時＝12月24日㈪午後2時～3時15分　会場＝中央公民館　内容＝アニメーム「赤鼻のトナカイ」、人形劇「銀河鉄道の夜」ほか。出演は人形劇団かいこ　問い合わせ＝中央公民館☎㉓3818。

絵画クラブ　たんぽぽ

毎週木曜、午前9時～正午、桂萱公民館／会員数14人／指導者・有村真鉄さん／代表者・高橋芳江さん☎㊾2438　★絵を通じて物をじっくり見ることを学んでいます。精力的に活動中。

高校進学――奨学生を募集

対象＝①市内在住②来年4月に高校（高専）・専修学校の高等課程に進学を希望③資力がなく修学困難④品行方正、身体健全、学業優秀、志操堅固⑤進学後、他の育英または奨学金の給与・貸与を受ける予定がない。
以上の条件を満たしている人
募集期間＝12月17日㈪まで
貸与月額（予定）＝国・公立…一万二千円、私立…一万八千円　貸与期間＝平成3年4月から卒業まで（最短修業年限）
返還方法＝卒業後六か月から十年間で一年を四期に分けて返還（無利子、一括・繰り上げ返還も可）　申し込み＝在学の中学校へ　問い合わせ＝学校教育課☎内線4016

前橋Qまち　歳末大感謝祭

フリーマーケットやもちつき大会

12月6日～9日

1億円の夢プレゼントやもちつき大会など楽しいイベントがいっぱい――。Qのまち（9つの商店街）では、「ぬくもりふれあいQのまち」をキャッチフレーズに、歳末大感謝セールを行います。家族みんなでお出かけください。
イベント内容＝1億円の夢プレゼント（抽選で300人に年末ジャンボ宝くじ10枚）、フリーマーケット（イベント広場で）、もちつき大会とラムネの早飲み大会（イベント広場で）、おしるこ・甘酒サービス
○…問い合わせは「Qのまち」実行委員・川上さん方☎㉞4841、商業観光課☎内線3602へ。

周辺商店街でも　歳末感謝セール

12月10日～16日

周辺商店街では、日ごろの感謝を込めて歳末の共同大売り出しを行います。期間中、参加店で買い物をされた人にもれなくティッシュペーパーをプレゼント。お誘い合わせのうえ、お出かけください。
○…問い合わせは商業観光課☎内線3602へ。

差別をなくそう
4日から人権週間

毎年、十二月十日は「人権デー」、十二月四日から一週間は「人権週間」です。四日から始まる人権週間では、「部落差別をなくそう」「国際化時代にふさわしい人権意識を育てよう」「女性の地位を高めよう」などが強調事項となっています。今から四十二年前の十二月十日、国際連合は「世界人権宣言」を採択しました。この宣言は、人間の尊さ、基本的人権の尊重、差別撤廃などを掲げています。

しかし、私たちの生活を振り返ってみると残念ながら、さまざまな人権侵害事件が発生したり、いわれなき差別を受けている人たちがいます。また、根強い偏見や迷信も残っています。

本市の市民憲章にも「日々のしあわせと伸びゆくこのふるさとの明日をめざして、やさしい心をもとう……」と、うたっています。私たち一人一人が科学的な見方・考え方を身に付け、人権意識を育て、みんなで住みよい明るい前橋を築いていきましょう。

○…問い合わせは社会教育課☎内線４０２３へ。

目がかすむ
（白そこひ）

年配の人が２、３日前から目がかすんで見えないと言って診察室に入ってくると、ピリッと緊張します。「いつ眼底出血を起こしたのか」と思うからです。まず視力測定のため自動屈折計の前に座ってもらい、スイッチを押すと「エラー」と表示されます。何回測っても「エラー」です。ここでなんとなくホッとします。次に角膜や水晶体検査のため細隙灯（さいげきとう）顕微鏡の前に座ってもらい、斜めから光の帯を当てて安心します。それは、水晶体が白く濁っているからです。要するに「白そこひ（白内障）」なのです。

白内障が２、３日前に突然起こるはずがありません。老化現象ですから長い時間をかけ少しずつ濃くなっていきます。進行が遅く、少しずつ見えなくなるので、気がつかないことも大変多いのです。

昨夜、読書をいつもより長時間した、テレビを余計に見てしまった、畑仕事をしすぎたなど、なんらかの理由で急にかすんで見え、初めて見えないことに気づくのだと思います。また、運転免許証の更新手続きのための視力検査で通らなかったと来院され、白内障が見つかる人も多くいます。徐々に視力が下がるので、老人になると目がかすむのはあたりまえと周りの人も言い、更に、老人自身もそう思うために気づくのが大変遅れます。40歳になったら、毎年一度は誕生日にでも眼鏡を持って眼科医を訪れませんか。早期発見につながりますよ。

白内障は老化現象なので止めようもなく、ただ見えなくなるのを待つばかりで、お先真っ暗と思われるでしょう。現在の白内障手術は大変安全です。人工水晶体を移植するだけで自動車の運転もできるようになります。ドライブが趣味の人は免許証の更新ができない視力になったら、読書や手芸が趣味の人は読書や手芸をすると疲れたり、おっくうになった時が手術の時期です。勇気を出して診察を受けましょう。

（前橋市医師会）

健康手帳

お母さんがパート就労や病気の時——

乳幼児を一時お預りします

お友達と一緒で楽しいな　岩神保育園で

児童を一時的に預かる「一時的保育事業」を行っています。母親のパート就労や傷病など、保育でお困りの人、ご利用ください。随時受け付けています。

対象＝次のいずれかに該当する生後10か月以上の就学前児童①母親などのパート就労などにより、家庭における保育が断続的に困難となる場合（週三日以内、一か月十四日以内）②母親などの傷病、介護、冠婚葬祭などで、緊急または一時的に家庭保育が困難となる場合　実施保育所＝岩神保育園（岩神町二丁目☎㉛1696）　保育時間＝午前8時30分～午後4時（土曜は正午まで）　利用料＝児童一人につき①3歳未満児…日額千円②3歳以上児…同九百円（飲食物費含む、月額徴収方式）　申し込み＝児童家庭課☎内線３１５６へ

予防接種ガイド

三種混合（百日せき・ジフテリア・破傷風）

1月16日(水)午後2時～2時50分		母子健康センター 予防接種センター
1月17日(木)	〃	総社公民館 予防接種センター
1月22日(火)	〃	南橋公民館 予防接種センター
1月23日(水)	〃	駒形町会議所 予防接種センター
1月24日(木)	〃	元総社公民館 予防接種センター
1月29日(火)	〃	芳賀公民館 予防接種センター
1月30日(水)	〃	東公民館 予防接種センター

対象＝２歳～５歳６か月（１期は４歳未満児）

ツベルクリン・BCG

12月11日(火)〔12月13日(木)〕	総社公民館
午後2時～2時50分	予防接種センター
12月18日(火)〔12月20日(木)〕	南橋公民館
午後2時～2時50分	予防接種センター
1月8日(火)〔1月10日(木)〕	駒形町会議所
午後2時～2時50分	予防接種センター

対象＝３か月～４歳未満児　※〔 〕内はＢＣＧ接種

○…問い合わせは予防課☎内線3263へ。

老人福祉センター　しきしま　☎㉝2121

□クリスマスの集い
12月16日(日)午前11時。内容は吹奏楽演奏（市消防音楽隊）、歌・遊戯・楽器演奏（第五保育所）、プレゼント抽選会。

□映画鑑賞会
12月9日(日)午前10時30分、「平安貴族の生活」。

□保健学級
12月20日(木)午後1時30分～3時。医師による健康管理の話。

□各種相談
健康相談＝12月6日(木)午後1時30分～3時、病気について医師に相談　血圧測定・保健相談＝毎日、午前10時～午後3時　職業相談＝毎週水曜、午前10時～午後3時

□機能訓練
毎日、午後1時30分～3時（初めての人は12月7日・14日・21日(金)、印鑑持参）。

17日から年金相談

国民年金の保険料の納め忘れはありませんか——。今年も、年金相談と集合徴収を行います。お近くの会場にお出かけください。

12月17日(月)＝上川淵公民館、東公民館　12月18日(火)＝芳賀公民館、元総社公民館　12月19日(水)＝桂萱公民館、総社公民館　12月20日(木)＝南橋公民館、永明公民館　12月21日(金)＝城南支所　12月25日(火)・26日(水)＝市役所

国保年金課　時間＝午後2時～7時（25日・26日は午前9時～午後7時）

○…問い合わせは国保年金課☎内線３２５４へ。

犬・猫の引き取り

12月11日(火)・18日(火)・26日(水)、午前9時～10時、群大病院西構内アニマルプール前。手数料（生後六十日以上…一匹につき千円、同未満…一匹につき三百円）と印鑑持参。

○…問い合わせは保健所☎㉛7721へ。

健康テレホンサービス
☎㉞4197

月曜＝こどもの風邪
火曜＝母体の栄養と子供の歯
水曜＝アルコールはほどほどに
木曜＝婦人の尿失禁
金曜＝高齢者の冬の健康法
土・日曜＝婦人科の先端医療

精神保健相談

12月18日(火)午後1時30分～3時30分、保健所。予約を同所☎㉛7721へ。

愛の市民献血

①12月5日(水)午前10時～午後4時、農協ビル②12月17日(月)午前9時30分～午後4時、市役所。

くらしと税

所得税の清算手続き「年末調整」

サラリーマンの所得税は、毎月の給料やボーナスが支払われる時に源泉徴収されます。この徴収額の合計は、その年の給与総額に対して計算した正規の所得税額とは普通一致しません。これは①年の途中で扶養親族の数が変わることがある②配偶者特別控除や保険料の控除は毎月の税額計算時には差し引かれていない③毎月の給料やボーナスに適用される税額表は、毎月の給料が変わらないものとして作成されている——ためです。

このため、その年の最後に毎月源泉徴収所得税の合計額と、一年間の給与総額に対する年税額との過不足額の清算が必要です。これを「年末調整」といい、大部分のサラリーマンには確定申告に代わる大切な手続きです。

しかし、次のような場合には確定申告が必要です。①給与の収入金額が千五百万円を超える②給与所得や退職所得以外の所得金額の合計が二十万円を超える③給与などを二か所以上から受けている。

確定申告が不要のサラリーマンでも雑損控除や医療費控除、今年初めて住宅取得等特別控除を受けようとする時などは、確定申告で源泉徴収された所得税が還付される場合があります。

また、税制改正で①個人年金保険料にかかわる生命保険料控除の引き上げ②寡婦（寡夫）控除にかかわる所得要件の引き上げ③公的年金等にかかわる公的年金控除の最低保障額の引き上げ——などが改正になりました。

○…問い合わせは前橋税務署☎㉔4371へ。

住宅用地の申告は1月31日まで

固定資産税にかかわる住宅用地の軽減措置は申告制です。申告がない時は、軽減の適用が受けられない場合があります。今年、新増築して家屋評価を受けている場合は申告は不要です。

対象＝個人・法人を問わず今年1月2日から来年1月1日までに住宅を新築したり増改築をした所有者。すでに住宅用地になっている土地の住宅を取り壊したり、他の用途（例…住宅を店舗へ）に変更した場合も申告が必要　申告期限・提出先＝1月31日(木)までに資産税課へ

○…問い合わせは資産税課☎内線３２１７へ。

家屋を壊したら忘れずに滅失届

家屋の一部または全部を取り壊した場合には、滅失届を提出してください。今月三十一日までに取り壊した家屋には、来年度から固定資産税がかからなくなりますが、届け出なかったり来年の四月以降に遅れた時は課税されることがあります。納税通知書送付後の届け出には取り壊しの証明書などが必要です。

なお、法務局に滅失登記を済ませた人や、家屋の新増築などで家屋の評価の時に職員に届け出た人は不要です。

○…問い合わせは資産税課☎内線３２１８へ。

12月の納税

◆固定資産税・都市計画税第四期、国民健康保険税第七期＝12月25日(火)まで

税金は　21世紀への　パスポート

附属中3年　高田　さとみ

市役所は、〒371 前橋市大手町二丁目12－1 ☎24－1111です。

あたたかいこころ

題字・萩原佐知子　大室小３年

□ギャッジベッド一台＝本町二丁目・津久井澄江さんから。
□コンサート招待券五百枚＝高崎市・吉川事務所から。
□一万円＝駒形町・一市民から。
□石油ストーブ一台＝表町一丁目・田村福次さんから。
□英語カセットテープ十二本＝荒牧町・佐野尚美さんから。
□かばん二十個、靴百八十足＝三河町一丁目・吉田正八さんから。
○…以上の六件は社会福祉のために。
□八千九百八十三円＝鳥羽町西部一心会から。
□十万二千百六十七円＝NTT群馬支社から。
○…以上の二件は社会福祉事業基金に。
□ニシキゴイ百十匹＝三河町一丁目・田村健一郎さんから南町緑地観賞池へ。
□やかん二個＝堀之下町・小屋孝子さんから中央公民館へ。
□チューリップの球根二百個＝苅井町・斉藤ふじ子さんから木瀬保育所へ。
□二十万円＝前橋東ライオンズクラブ（岩佐良夫代表）から福祉バス購入のために。
□ピアノ一台＝前橋中央ライオンズクラブ（神田明彦代表）からサン・アビリティーズへ。

市地婦連会長
神谷　トメさん(67)
総社町総社1420-2

環境問題とても大事ですね

市内十六地区の婦人会で組織されている前橋市地区婦人会連絡協議会の会長。昨年四月に就任し、会員約五千人の協力で、どうにか二年目に」

同協議会は各地区婦人会相互の連絡調整を図り、婦人の能力の開発や社会の発展、福祉の増進に貢献するため、昭和二十九年に発足した。

「婦人会はいわば、よろず屋的で、いろんなことをやっているんですよ」

日本赤十字奉仕団や婦人防火クラブも兼ね、生活学校や共同募金の活動なども。

「今、環境問題はとても大事ですね。会でも牛乳パック回収に力を注いでいます。九月に行った回収では、八百㌔も集まりました」

今月に二回目を計画、今後定期的に実施する予定。廃油を利用した石けん作りの講習会なども実施している。

婦人会の課題は？

「私自身、結婚してすぐ婦人会に入ったんですが、最近は、若い人がほとんどいなくてね。それに働いている方が多く、なかなか会に参加していただけないのが悩み」

総社地区の婦人会長を引き受けて十五年目。人権擁護委員や市消費生活安定推進会議委員などにも名を連らね、多忙な毎日だ。

「今は忙しくて、できないんですが、書道や日本画が好きなので、落ち着いたらやってみたいですね」

ほがらか前橋人

相談

□老人問題電話相談☎224111　月曜～金曜、午前９時～正午、午後１時～４時
□行政・税務相談　12月17日(月)午後１時～４時、前橋西武６階
□子育て相談　月曜～金曜、午前９時～午後４時、市役所１階家庭児童相談室（児童家庭課内☎内線3153）。面接相談は電話で事前に予約してください

今年の交通事故

１～10月・（　）前年同期
▷件数2,943件(3,075件)▷死者26人(26人)▷傷者3,211人(3,469人)

★電話サービス
救急病院等案内　☎210099
火災情報　☎230019

休日の水道指定工事店

12月９日(日)―大生設備工事☎346481　12月16日(日)―井上設備工業☎690120　12月23日(日)―梅村設備☎327828　12月24日(月)―茂木住宅設備☎341298

市民の茶席

12月15日(土)　午前10時～午後３時、中央公民館。当番は前橋茶道会の片野貞堂さん（☎0273㊸0536）

地区朝市

12月９日(日)＝南町四丁目・前橋駅南通り、午前７時～９時

体育公社など職員採用試験

来年四月一日付けで採用予定の体育振興公社、公園緑地協会などの職員の採用試験を行います。

採用予定数＝約十人　受験資格＝昭和35年４月２日～48年４月１日生まれの人　試験日＝１月20日(日)　申込用紙と試験案内の交付＝12月15日(土)までに市役所５階人事課、支所・出張所で申し込み＝12月３日(月)～15日(土)に本人が人事課へ直接

○…詳しいことは「試験案内」をご覧ください。問い合わせは人事課☎内線3502へ。

今月の土曜閉庁

第２土曜＝12月８日
第４土曜＝12月22日

人権特設相談

無料人権特設相談所を開設します。秘密は守りますので、ご相談ください。

日時＝12月21日(金)午後１時～４時　会場＝市役所３階31会議室　相談内容＝家庭の悩み、隣近所の争いごと、不当な差別、相続など　相談員＝人権擁護委員、地方法務局職員　問い合わせ＝生活課☎内線3236

人権をみんなで守って明るい前橋

もちゃの図書館」でクリスマス会を開催します。

日時＝12月８日(土)午後１時30分～３時　会場＝職員研修会館　問い合わせ＝社会福祉協議会☎内線6033

青少年団体グループ活動展

期日＝12月５日(水)～11日(火)　会場＝スズラン百貨店２階参加団体＝市青少年団体連絡協議会の加盟団体（市連合青年団、ボーイスカウト、ガールスカウト、市フォークダンス協会、前橋ユネスコ協会、前橋青年会議所、青年赤十字奉仕団、前橋BBS会）　問い合わせ＝青少年課☎内線4043

社会福祉協のクリスマス会

社会福祉協議会では、「おもちゃの図書館」でクリスマス会を開催します。

日時＝12月８日(土)午後１時30分～３時　会場＝職員研修会館　問い合わせ＝社会福祉協議会☎内線6033

前橋けいりん

12月16日(日)・17日(月)・18日(火)・23日(日)・24日(月)・25日(火)と、ケイリングランプリ場外を29日(土)に開催します。

○…当日はグリーンドーム付近の交通混雑が予想されますので、みなさんのご協力をお願いします。

今月のエレガンスサービス

観光イベント情報☎㊸0550
3日(月)まで…Qのまち（冬のイベント）　4日(火)～10日(月)…酉（とり）の市まつり　11日(火)～17日(月)…クリスマス情報　18日(火)～24日(月)…全日本実業団駅伝　25日(火)～31日(月)…初もうで　1月1日(火)～7日(月)…初市まつり

前橋ゆかりの人たち「萩原朔太郎」☎㉓0550
3日(月)まで…心の傷を胸に来橋ねました（4面）。みなさんのち密な編集にびっくり。真剣に取り組む姿に触れ、私も、見習うことが多く大変参考になりました(U)▼右へ行ったり下降したり、急旋回を繰り返すこと二時間。さすがの私もぐったり。次号で載せます、ヘリコプターから見た〝前橋の風景〟を(H)。

街まち町ルック

「土器が出来たぞ」「どうやって使ったのかな」――校庭に復元された竪穴式住居で、６年生が〝古代生活〟を体験。（荒子小で）

前橋ゆかりの人物誌 前橋アラカルト

群馬の郷土研究誌を300号も発行。

豊国　義孝

多彩な内容の「上毛及上毛人」

豊国義孝

市立図書館の二階に「上毛及上毛人」という雑誌が並んでいる。群馬の歴史研究を内容としており、現在、貴重な資料だ。本市に住み、この雑誌の発行に当たったのが豊国義孝である。

住職から出版関係の仕事に　豊国義孝（号を覚堂という）は、慶応元年（一八六五）に多野郡日野村（現在は藤岡市）の寺の子として生まれた。明治十二年、勢多郡大胡町の長善寺・豊国洞伝の養子となり、仏教の道に進む。二十一歳のころ、同寺の住職となった。その後上京、宗教活動の傍ら、雑誌の編集など出版関係に携わる。やがて高崎に移り住み、郷土史の研究を始める。三十二年、著述と出版に専念するため寺の住職を辞めた。三十九年に「高崎繁盛記」、四十年には「前橋繁盛記」など、郷土にまつわる著作を次々と発表した。また、「前橋風土記」の編さんにも当たっている。

27年も続いた「上毛及上毛人」　大正二年、「上毛郷土史研究会」を結成、雑誌「上毛及上毛人」を創刊する。三号まで発行したところで、五年に前橋へ移り、南曲輪町（今の本町一丁目）に居を構えた。ここを拠点におう盛な出版活動が始まる。直ちに「上毛及上毛人」復刊第一号を発行した。同誌は、昭和十七年までの約二十七年間も続き、全部で二百九十七号を数えた。前の三号を合わせると三百号にもなる。内容は、群馬の歴史や遺跡、人物などを扱ったもので、執筆者は義孝をはじめ他県の人や中央の専門家など数百人に上った。この雑誌は、現在も郷土を知るうえで大変貴重なもので、群馬の研究には欠かせない資料となっている。

岡崎賞や藍綬褒章　戦争が激しくなった昭和二十年春、大胡町の長善寺に疎開した。二十五年には、県内の優れた文化人に贈られる岡崎文化賞を受賞。国からも長年の功績が認められ、二十九年には、藍綬褒章を授与された。その年、八十九歳でこの世を去った。多野郡の生まれ、大胡町の住職と、正確には〝前橋の人〟といえないかもしれない。しかし、忘れてはならない人の一人である。

（次回は「鈴木貫太郎」）